



はなびら 花卉に踊る春雨の雫

立教池袋高等学校

高校卒業生へ

社会のリーダーとして活躍してほしい

校長 豊田 由貴夫

皆さん、卒業おめでとうございます。

これまで、卒業の挨拶では、これで皆さんは社会人への一歩、大人への一歩を踏み出すことになる、そういう言い方が普通でした。

しかし今は違います。みなさんは法律的にもう大人、成人になっています。一方の方が適切です。一昨年から成人年齢が引き下げられて、二〇歳から十八歳になりました。ですから、もうほとんどの人、誕生日のきた人はすべて、法律的にも大人、成人になっているわけです。

これまで二十歳だった成人年齢が引き下げられたのは、それなりの意味があります。それは、皆さんに社会で一人前の存在として活躍してほしいという意図があるのです。皆さんに、社会の一員である、社会を担っていく存在であるということとを強く意識してほしいという狙いがあるのです。

今、我々の社会は大きな課題を数多く抱えています。日本では経済の停滞が長らく続き、これまで平均賃金が三〇年上がっていないと言われてきました。今年ようやく賃金上昇の動きが出始め、株価も上昇して経済も上向きになってきたところですが、しかしそのような状況でも、経済格差が広がっているという問題があると言われています。

ま、今度はイスラエルとハマスの戦闘が始まり、犠牲者が増え続けています。さらには地球の環境破壊が進んでいるのも問題だと言われています。地球温暖化が進み、異常気象、干ばつが広がっています。今後の人口増加に必要な食糧供給が危ぶまれている状況です。

これらの問題、国内外のさまざまな問題に対応するためには、皆さんの新鮮で柔軟な感覚と能力が必要となります。皆さんに社会で活躍してもらい、是非組織の中心になってもらいたいという事です。成人年齢を引き下げたのは、皆さんに十八歳で大人になるという強い意識を持ってほしいという、そういう狙いがあるわけです。

本校では新しい教育目標として、これまでのリーダーシップ教育に加えて、シチズンシップ教育とグローバル教育を新たに付け加えました。皆さんにはこの目標の表現はまだ馴染みが薄いかもしませんが、これは決してまったく新しいことを始めたというわけではなく、既に本校が皆さんに向けて行ってきたことを新しい言葉として表現したということになります。

今後ほとんどの人が大学で勉強を続けることになるかと思いますが、これらの立教池袋高校で身につけた力を活かし、社会のリーダーとして、立教らしいリーダーシップを発揮して卒業後も邁進してください。

やっぴいの言葉

進学し備え中学校生活を振り返るプリントで「あなたの長所は」という質問があった。「そんなものはない」「わからない」。君たちからはそんな反応が少なからず返ってきた。学校でにぎやかに過ごしているのに、どこか自信が過剰か、何となく生活の核に自信が過剰か、わからない。そんな様子が感じられた。自分の存在価値が何か。聖書では神と他者への愛が人間の存在意義だと述べているように私は思う。君たちには、一生懸命努力をして自分を高め、そこで得た力を他人や社会のために役立て、人から感謝されるような生活を作り上げて欲しい。感謝されたときに自分の存在価値も認められるようになるのではないかと。「向上心と隣人愛」という耳慣れた言葉はあると思うが、やっぴり卒業する君たちにこの言葉を贈りたい。

(二組 重原康秀)

中三組主任より

Do Your Best!

あなたの最善を尽くさない。この「Best」には人と比べてではなく、自分の中でできる限りの力を尽くすという意味が込められています。自分のほうが上だとか下だとかに目を奪われがちですが、最善とはそうではないのです。ではその最善は、なんのためですか？自分の価値観だけに頼るのではなく、ほんとうに大事なものは何なのかを常に追いつめる姿勢が求められています。この学校で学んだ君たちには、その大事なものは神様の御心に沿った道だとわかるはずですよ。

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」(箴言35:6) God bless You!

(二組 初瀬川正志)

見られないでもやれ

この三年間、数学だけでなく生きるために大切なことを伝えましたが、どれも絶対的な指標ではないです。私の考え方がすべてではありません。

また、この三年間、違反物の取り締まりにも目を光らせていました。おそろしく、私に見つからないように気をつけていたか、コンコンと隠れてやっていた生徒もいたことと、大事なことは「怒られるからやめよう」とか「見られてないからやめよう」とか「おらにせよ、他者に行動の基準を委ねてはならない。見られていようが見られていなかろうが、やるべき事はやる、やっぴり自分だけの人生を生きていくのです。それを考えるためのきっかけは与えました。私が見て無くてやるべき事をやる人間になって下さい。卒業おめでとう。

(三組 砂井博光)

応援される人になる

「人にやさしく、自分に厳しく。応援される人になる。」入学に向けた言葉、クラスでの目標として私が三年間伝えてきたこと。自身だけでなく、他人のために何ができるかを考えて行動する。決しておごらず、謙虚に生きて応援される人になる。

これらがなぜ、必要なのか。それは、一人で生きていくことはできないから。将来、会社に就職する、起業する、どんな形であれ、仕事に就く。プロフェッショナルになる。仕事は相手がい初めて成立する。その相手が信頼できるか。相手は自分を信頼しているか。実績だけでなく、心を評価してもらえよう、心を持ってほしい。最後は人が評価されるから。

(四組 田部達弥)

高三組主任より

また逢う日まで

卒業生の皆様、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。偶然ですが娘も今春保育園を卒業します。この文章は保育園の卒園式前に書いていたもので、わかりませんが、多分私は卒園式で泣いたでしょう。なぜ泣いたのでしょうか。悲しいのでしょうか。生物学的にはいまだによくわかっている現象なのだと思います。私もよくわかりませんが、卒業生の皆さんとしては、高校の卒業式は大学への一ステップとして通過点にし過ぎないかもしれません。でも、保護者の立場としては大きな一区切りなのではないか、なかなか言い出せないかもしれない。是非今までの感謝の気持ちを伝えてください。またおう日まで。

(二組 對馬 剛)

切り取らないで

君たちにどんな大人になってほしいかと考えてみたとき「バランスの良い人間になる」ということが浮かびます。自分の権利を主張するだけでなく、周りを見て、責任を果たすことのできる人になってほしい。

情報の発信者となることも多くなるこんな奇妙な時代だからこそ、発言には責任が伴います。裏付けのある真実を語る、多くの情報の中から真実をすくい出して評価する。ただでさえインターネットにおいて受動的接触が増えており、自分のお気に入りのニュースばかり読みがちになっていて、そのような場においては切り取らないで公平な目で眺め、バランス感覚を確かにして物事を判断することが必要になるのではないかと思っています。

(三組 高橋 整)

過ぎゆく時の中で

これからは、それぞれが自分で決めた道を歩まなければならない。「今・ここ」に留まり続けることなどできない。人間は、そうして変容する過程の中でしか生きられない、利利的で不確かな存在なのだろう。

最後の学年礼拝で話したように、不安定なこの時世で、時に予測困難な事態に直面したとしても、如何に精神の自由(平常心)を保つか、できるだけ納得した形で生きられるのかは、君たちがこれから何をどう学ぶのかにかかっている。いつの日か、また君たちの親しみある形姿を目にして、私の記憶の中であつて共に過ごした出来事の断片が蘇ってきたら、何よりの幸せを感じるだろう。卒業おめでとう。そして、またどこかで会おう。

(四組 綾部保志)

2024年度 立教大学 推薦入学者数

Table with columns: 学部, 学科, 専修, 推薦枠, 合格者数. It lists various departments like 文, 経済, 理, 社会, 法, 観光, etc., and their respective numbers.

※それぞれ新座校より1つ枠を受ける。理学部は、各学科4名まで。ただし、理学部全体では8名まで。

自己推薦

自己推薦は七項目あり、その中から三項目まで申請できます。今年度も殆どの生徒が学習面と生活面から申請をしました。

十字 今月の聖句

Therefore we do not lose heart. Even though our outer body is wasting away, yet the inward mind is being renewed day by day.

II Corinthians 4:16

This winter has not been so harsh in the Tokyo area. However, when cold temperatures and gray skies seem never-ending, it's good to be reminded that the sun always rises, that the green shoots always break through the frozen ground, that spring is right around the corner and that Christ's mercies are new every day.

Concerning the Bible passage above, what can the "Renewing of the Mind" look like for us? It is a question many people struggle with. Few people experience concrete understanding about it during their life. Consequently, we can be left feeling unfulfilled, frustrated, and confused when it comes to actually living the abundant life Jesus promised when he said, for example, "The thief's purpose is to steal and kill and destroy. My purpose is to give you a rich and satisfying life. (John 10:10)" Jesus is implying that a rich and satisfying life comes true through one simple, life-changing strategy: the renewing of the mind.

But remember, renewing your mind is not just a spiritual process, but an organic one as well. When you intentionally change the way you think to align with God's Word, it literally creates new connections and pathways in your brain to make that process easier and more preferred over time. Through this process, your brain can literally be reconfigured to align with the truth of God's Word and thus create a new way to align with God's plan for your life. As it says in the Old Testament, "For as he thinketh in his heart, so is he. (Proverbs 23:7)" Your thoughts and consequent actions literally create the boundaries of your life. If you want to experience a different life—the abundant life Jesus promised—you must learn to intentionally renew your mind.

One way to do that is to visualize: God created you with an incredible imagination to see, sense, feel and create new realities in your mind—before you were even born—that is your "hardware". As you replace and reinforce new thoughts-based on God's Word—imagine in your mind's eye what it would look like or feel like to experience life within this new reality. This further stimulates your brain and accelerates your own ability to come into agreement with God's plan for your life. I pray for God's guidance as you continue to renew your minds, in Christ, over the coming years.

Fr. Mark Stahl, Chaplain

英語条項

今年も英検・TOEICで、ハイスコアを取った生徒が大変多かったようです。...

2024年度 立教大学被推薦者の英語条項

Table showing English proficiency requirements: 英検2級 (TOEFL, TOEIC等も含む) 以上で認定 89%, 英検準2級 (TOEFL, TOEIC等も含む) + alpha で認定 11%.

中学一年便り

中一の最後に

入学当初、才能により多少の差はあるものの、はじめは誰もが初心者で、そこに努力を積み重ねていこうと言った。新しい環境に慣れようと毎日必死に過ごすが、体育祭で円陣を組み...

中学二年便り

君たちはどう生きるか

この原稿を執筆しているのは二月中旬過ぎ。ある中学校の入試問題が話題になっていて。その問題、樹木を伐採することなどで議論をなしている明治神宮外苑地区の再開発計画に関する問いである。...

高校一年便り

二つの秘訣

「たった二つなのよ。最初が笑うこと。次が退屈しないことね。」 この言葉は一二二歳まで生きたフランス人女性、ジャンヌ・フランソワが、「長生きをする秘訣は何か？」という問いに答えた言葉である。...

高校二年便り

マル

「優しさにひとつ気がつく×でなく〇で必ず終わる日本語」 これは、歌人の俵万智さんが、最近話題になっている「マルハラ」に一石を投じた歌だ。...

友人と刺激し合ってほしいが、誰かと比べてばかりいて、誰かより自分を見つめようがない。自分張っているか、他人より頑張っているか、過去の自分と比べること、思い描いていた姿になれたと実感することが大切なのである。...

二つ目は、批判するのは結構。ただし、そこに相手や作成者の意図を聞いたり、汲んだりすることはできる。この入試問題にはどのような意図があったのだろうか。白黒つけることだけが絶対ではないはずだ。...

「目先の結果だけにビクビクせず、十年後、二十年後の自分が、笑顔でいて、退屈しない毎日を送るため、今を生きていこう」と、自分自身に言い聞かせている今日この頃である。...

高二是今後、卒論に本腰を入れていくが、このような姿勢を卒論で展開してはいけない。論文は、丁寧に先行研究を整理し、多くの資料を集めて整理し、それに忠実に考察を述べていく。...